

中海圏域の定住自立圏の形成に関する協定 を締結しました

中海市長会を構成する境港市をはじめ米子市、松江市、安来市、東出雲町の4市1町は、これまで各市町が連携して取り組んでいく事業などについて協議を進めてきました。

10月7日、その内容や各市の役割などを定めた「中海圏域の定住自立圏の形成に関する協定」の締結を行いました。

今後は事業の実施を通じていっそうの連携を深め、中海圏域の発展と安心して暮らせる地域づくりに向けて協力していきます。



I. 定住自立圏とは

「定住自立圏構想」は、人口などの要件を備えた中心市と周辺の市町村が連携・協力し、必要な都市機能や生活機能を確保し、地方への定住を促進することを目的とした国の制度です。

「定住自立圏」は、中心市と周辺市町村が、自らの意思で連携可能な事業や施策について、1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として形成される「圏域」のことです。

II. これまでの取り組み

4市1町で構成する中海市長会が、昨年10月、定住自立圏構想を全国的に展開していくために、先駆的な取り組みを行う「先行実施団体」に選ばれ、その後、圏域として取り組んでいく事業などを協議してきました。

今年4月、松江市と米子市が「中海市長会の活動を核として、全国的にもまれな、2つの県にまたがる2つの中心市を持つ定住自立圏を形成し、中心市として圏域全体の中核的な生活関連サービス機能の充実、確保に努め、だれもが安心して心豊かに暮らせる魅力ある圏域づくりに取り組み、住民の生活利便性の向上と地域全体の一層の活性化をめざす。」旨の「中心市宣言」を行い、協定の締結に向けて協議を進めてきました。

III. 「中海圏域の定住自立圏の形成に関する協定」の概要

協定では、境港市と中心市である米子市、松江市と連携して取組む事業や各市の役割を定めています。今後は、各事業の具体的な内容を盛り込んだ「圏域のビジョン」の策定に取り組みます。

◆境港市が連携して取り組んでいく事業

医療	◇保健医療を担う病院への支援
福祉	◇圏域内の保育所情報の提供
教育	◇文化、体育施設の共同利用による住民交流◇図書館利用者登録の拡充◇学校給食に圏域内の特産食材の使用
産業振興	◇圏域の観光振興◇「中海産業技術展」への支援◇環日本海定期貨客船の安定運航のための支援
交通	◇公共交通の利便性向上に向けた取り組み◇コミュニティバスの運行◇中海の湖岸周遊道路のルート検討◇中海架橋建設に向けた連携◇「中海圏域振興ビジョン（仮称）」の策定◇圏域情報の共有化
人材育成	◇職員派遣および合同職員研修の実施◇専門知識を有する経験者等の人材を共同で招へい
そのほか	◇下水道の基盤整備◇災害時の相互応援◇大学等の連携推進◇環境保全の推進◇各種廃棄物の効率的な処理等の検討

◆問合せ先 地域振興課企画係 ☎47 - 1024